

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 R6 年 12 月 27 日 (14 : 00～15 : 00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 管理者、ケアマネ、看護師、小多機リーダー、介護職員 2 名 計 6 名

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	13 人	0 人	0 人	14 人

前回の改善計画
*初期支援の重要性を理解し、先ずは利用者に大いなる関心を示すこと。本人、家族にしっかり分かってもらえるよう表現力、伝達力を意識していく事。 また、利用者の情報収集に関しては、その方のエピソード、プロフィール、生い立ち等にも力を入れて収集する。その情報を調べ学習し、関係性構築のツールとして活用していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
・初期支援ノートへの記載はよくなされている。状態確認、現状把握は詳細に記載されている。 ・初期支援の重要性はスタッフに浸透してきている。 ・前半は初期支援ノートに細かく記載されているが、月の半分を過ぎるころから内容量が乏しくなっている

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2	8	4	0	14
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	3	10	1	0	14
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	2	11	1	0	14
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	8	4	0	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
○事前ミーティングや管理者・ケアマネからの情報提供で情報共有は出来ている。 ○気があれば、ミーティング等でサービス内容を検討し必要な支援が出来ている。 ○送迎時の会話で積極的に話しかけ関係性の構築に努めていた。 ○初期支援の時期は特に気を配って対応している。 ○不安があると思うので笑顔の対応、失礼のない態度に心掛けている。 ○家族の希望、思いを受け止めたスタッフが報告の場を利用して情報共有し、サービス提供に繋げている。 ○ご本人様からエピソードを色々と聞き出したり、ニーズの把握をすることが出来た。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
○シフトの関係上初期支援の利用者とお会いする機会が少なかった ○会話が表面的で本音・本心の情報収集が上手に行われなかった。 ○家族とお会いするスタッフが限られているので直接的な思いを受け止められない ○本人との関係作りに遠慮してしまう。○訪問限定のゲストさんと意思疎通に時間がかかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
*初期支援の重要性は理解できてきている。ただし、利用者の情報収集に関しては、その方のエピソード、プロフィール、生い立ち等にも力を入れて収集するだけでなく、その情報を調べ学習し、関係性構築のツールとして活用していきたい。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	R6 年 12 月 27 日 (14:00～15:00)
2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	管理者、ケアマネ、看護師、小多機リーダー、介護職員 2 名 計 6 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3 人	10 人	1 人	0 人	14 人

前回の改善計画
*スタッフ全体で日々の『～したい』の聞き取りや実現は共有できているが、ケアプランを通した当面の遠い目標を理解できているスタッフが少ない。再確認も含めスタッフは必ずケアプランに目を通し、在宅生活を継続する上で何を目標としてケアをしていくかをスタッフ間で統一認識できる様にする。その方のゴールに向かって方向性のばらつきがないようにしていく。また、成功事例の情報をスタッフ全員で共有していく時間を作り『～したい』の実行に職員が意欲を持ってもらうように努める。
前回の改善計画に対する取組み結果
ケアプランに目を通すが長期目標に対して理解しているスタッフは少ないまま推移してしまった。短期目標の『～したい』と長期目標を混同してしまっているスタッフもいるので、ことあるごとに長期目標の確認作業が必要と思われる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1	9	4	0	14
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	12	1	0	14
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	8	5	0	14
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	5	9	0	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
○自立支援に心掛け出来る事は本人に行って頂いている。 ○『～したい』の聞き取りは出来ている。 ○ケアプランを参考にして当面の目標は理解できている。○『～したい』は会議等で情報が入り行動に移すことが出来た。 ○一部の利用者ではあるが実現できている。 ○事例の共有で次に活かした。 ○レクリエーションや生活リハビリを介してゴールに近づくよう努力した。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
○業務を優先してしまい、思いの実現に手が回らなかった。 ○ケアプランの確認を怠った。 ○生活面での『～したい』には対応しているが楽しみ面での『～したい』には対応できていない。 ○声なき声を聴こうとしなかった。もしくは理解できていなかった。 ○自立を促す前に介助してしまう。 ○長年接している利用者だとケアプランに目を通すことがなくなった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
基本に戻りケアプランの確認を徹底すること。ミーティングや会議時には一人でも良いので利用者のケアプランを確認する時間を作るようにし、短期目標と長期目標を理解していく。また、成功事例の情報をスタッフ全員で共有していく時間を作り『～したい』の実行に職員が意欲を持ってもらうように努める。 レクなどで体を動かす機会を増やし、寝たきりだった方や連泊されている方に対して自宅へ帰る支援を行いました。また、退院支援も積極的に行っており、在宅生活を充実して過ごしてもらえるまで復帰した方々もいらっしゃいました。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	R6 年 12 月 27 日 (14:00~15:00)
3. 日常生活の支援	メンバー	管理者、ケアマネ、看護師、小多機リーダー、介護職員 2 名 計 6 名

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	10 人	2 人	0 人	13 人

前回の改善計画	ミーティング、会議専用の用紙を作成し、日々のミーティングや会議での決定事項を記載。気軽に書き込め話合えるような職場雰囲気を作っていく。日々改善していくことで、利用者の変化に対応できるよう対応していくツールとする。また、「以前の暮らし方 チェック項目」を作成し、情報収集に対して意識付けを図る。
前回の改善計画に対する取り組み結果	日々のミーティングを行うことで、ケアの統一や起きたことへの対応方法など今まで以上に迅速に対応することができるようになった。また、申し送りノートへの記載量も増え、情報を得る機会となっている。スタッフ個々の所有している情報の量・質の隔たりを解消する取り組みは来期の課題とする。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?	0	3	11	0	14
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	5	9	0	0	14
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	10	3	0	14
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	11	0	0	14
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	12	0	0	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
○基本的介護はしっかりできている。 ○経験を重ね声なき声を少し汲み取ることが出来るようになった。 ○日々の関わりの中で関係性を築き体調不良や気持ちの変化に気づき医療機関へ繋げることができた。 ○ゲストの体調に合わせてサービスを柔軟に変更することが出来た。 ○ミーティングを都度行い、当日出勤していないスタッフには、ミーティング用紙を作成して把握しやすくなった。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
○「以前の暮らし方」を把握できていない。 ○声にならない声を聞き取る技量がスタッフごとに偏りがある。 ○業務優先で利用者の変化に気付けない	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
ミーティング、会議専用の用紙を作成したことで、日々のミーティングや会議での決定事項を記載。ミーティングや会議は気軽に言い合える場、相談できる場として活用できている。迅速な対応が可能となった反面、ミーティングや会議に参加されていないスタッフは内容を把握していないことがあった。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 R6 年 12 月 27 日 (14:00~15:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 管理者、ケアマネ、看護師、小多機リーダー、介護職員 2 名 計 6 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	6 人	5 人	3 人	14 人

前回の改善計画
* 本人がサービスを利用していない日はどのように過ごしているかを把握しているスタッフが少なかつた。24 時間 365 日切れ目のないサービスを提供できるのが小規模多機能なので、日頃からその方のサービスの利用のない日でもどの様に生活しているかなど、生活全体を捉える視点を養う様にする。
前回の改善計画に対する取組み結果
スタッフごとに利用者に対しての関心度に関きが有り、常に利用者を気に掛けているスタッフもいれば、そうでもないスタッフもいた。利用者に対する関心度を上げて、利用日でない日の生活をどのように過ごしているか等に関心を持ち、観察力に長けた職員の指導育成を今後の課題とする。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	7	7	0	14
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	6	7	0	14
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	7	7	0	14
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	3	8	3	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
○他のスタッフや申し送りノートを見て情報を知ることが出来ている。 ○家族とのコミュニケーションは重要と考えているのでそれなりに出来たと考えている。 ○ご近所の方ともコミュニケーションと取っている。 ○個人ファイルを参考にしながら、利用者との関りを多く持ち生活スタイル等を把握している。 ○家族からの聴取や連絡帳のコメント等から情報を得て共有できている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
○出勤日が少なく生活スタイルが分からないときがある。 ○利用者が休みの日にどう過ごされているのか余り気にかけていなかった。 ○問題は把握しているつもりだが、どう行動していいかわからない。 ○小規模多機能はあくまで在宅になるので、ご家族が休みの事を把握してればいいと思っていた。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
利用者と地域、事業者と地域のこれまでと違う関わり方を検討する。 利用者と地域との関係性が今以上に希薄にならないよう最低限維持できるよう努める。 5 類となったが新型コロナウイルス感染症が終息せず、福祉財源の肥大化等、様々な多くの困難な状況ではありますが、社会資源を見つけ、出来ることを増やしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	R6 年 12 月 27 日 (14:00~15:00)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	管理者、ケアマネ、看護師、小多機リーダー、介護職員 2 名 計 6 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4 人	7 人	3 人	0 人	14 人

前回の改善計画	* 日々のミーティング時にケアの実践に対しての「振り返り」を行う時間を設定していく。そこで職員間の情報共有と小さな成功体験の疑似体験を積み重ねていくことを目標設定とする。 個人面談を充実させ、変化への気付きや本人の強み、可能性の見つけ方をコーチングしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	ミーティングを都度行えていることで以前よりも迅速な対応が可能となった。また、利用者の状態変化や課題の抽出には力を発揮できている。ミーティングを通して決定事項の確認や上手くいかなかった際にどうしていくかの仕組み作りが今後課題となる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	3	4	7	0	14
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	8	6	0	0	14
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	4	9	1	0	14
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	4	9	1	0	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
○リーダーを中心として毎日のミーティングを実施することができた。ミーティング内の情報共有として、スタッフ一人一人が発信していこうという意識もついてきている。 ○GH とも連携し、ニーズに合わせたサービスの提供ができた。 ○課題をそのままにしていない。 ○3つの機能を適切に組み合わせながらサービス提供ができた。 ○柔軟性のあるサービス提供が行えた。 ○日々のミーティングや申し送りで変化等の情報共有ができた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
○業務ばかりに集中してしまい、利用者の変化やニーズに対応出来ていなかった時があった。 ○ミーティング等で決定したことが実施出来ているかの確認ができていない時があった。また、うまくいかなかった際の振り返りが上手くいかないことがあった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
ミーティングを都度行えていることで以前よりも迅速な対応が可能となった。また、利用者の状態変化や課題の抽出には力を発揮できている。 次回までの課題として、ミーティングはこのまま継続して行い、ミーティングや会議を通して決定事項が実行できているかの確認や上手くいかなかった際にどのように改善していくか、を振り返る習慣、仕組み作りを課題とする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 R6 年 12 月 27 日 (14:00~15:00)

6. 連携・協働

メンバー 管理者、ケアマネ、看護師、小多機リーダー、介護職員 2 名 計 6 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	6 人	5 人	3 人	14 人

前回の改善計画	＊前年度に引き続き、コロナ渦でなくなれば、自治会と共催できるイベントは力を入れてやっていきたい。イベントを通して自治会活動の活発化や地域の関係性の発展に繋げていきたいと考えます。
前回の改善計画に対する取組み結果	昨年度に引き続き、今年度もヴィラ愛成祭りを開催致しました。利用者、ご家族様のみで開催となりましたがとても喜ばれていました。来年度は地域の方も呼んで行えるよう計画していきたい。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	1	0	4	9	14
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	0	1	1	12	14
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	1	1	5	7	14
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0	3	2	9	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
○認知症のある方の作品展に出展、参加しました。 ○事業所内では工夫を凝らして毎月イベントを行っている。また、季節に合わせた装飾づくりも利用者と一緒に作っている。 ○ヴィラ愛成祭りは行えたが、地域の方は呼べなかった。 ○毎朝の旗振りで小学生のお見送りに参加したり施設周辺を利用者と実施。 ○自治会主体の地域の運動会への参加	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
○出来る事がまだまだ制限され殆どの項目で出来ていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
自治会と以前のように共催してイベントが出来るように行事委員を中心に計画していく。 地域のイベントへの参加を感染対策を講じて可能な限り参加していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 R6年 12月 27日 (14:00～15:00)

7. 運営

メンバー 管理者、ケアマネ、看護師、小多機リーダー、介護職員2名 計6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	6人	5人	2人	14人

前回の改善計画	*運営推進会議を2か月に1回対面開催の実施をし、ゲスト、家族、地域【自治会】、包括、役所と連携して、運営状況の報告やどのようなサービスができるかなど地域を巻き込んだ運営ができる。
前回の改善計画に対する取組み結果	運営推進会議は、コロナで延期してしまったが、2か月に1回対面開催の実施は概ね行えている。運営状況や自治会との関りも含めて、発信、相談できている。 職員は参加できていないため、フロアリーダーの出席なども今後の課題である。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	1	5	7	1	14
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	1	12	1	1	14
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	3	6	5	0	14
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか？	4	3	6	1	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
○目標に向けて行動しているスタッフの数が少しずつ増えてきている。○フロア会議で評価の実施 ○同じ事が起きないように改善策を考えている。○家族からの意見・苦情は必ず上長へ報告している。 ○近所の方とコミュニケーションをとっている。○地域の美化に努めている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
○運営の事まで考えたことがない。 ○目標に対して積極的に行動できなかった。 ○運営推進会議への参加がHMのみとなってしまうため、リーダーや職員が参加できていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
職員の意識付けのため、利用者、家族、地域からの意見を運営推進会議で聴取し意見を反映させていく。 また、運営推進会議はご家族や地域の方の意見を聞ける場なので、リーダーや職員が参加できるような体制を整える。 地域との協働を模索していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	R6 年 12 月 27 日 (14 : 00～15 : 00)
8. 質を向上するための取組み	メンバー	管理者、ケアマネ、看護師、 小多機リーダー、介護職員 2 名 計 6 名

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3 人	11 人	0 人	0 人	14 人

前回の改善計画	* 事故が発生した場合はその日いるスタッフでまずはショートカンファレンスを開催することを徹底する。ミーティングやフロア会議ではそれをもとに事故の対応策等の検討を行ってきたが、時間がなく有意義な意見交換ができていない。また、事故の起こってしまった根本の要因を理解できずに改善策を立てているケースが多く、原因をきちんと話し合いそのあとに改善策を立て、フロアへ周知、徹底をする。改善策が実施されているかの確認も行い、都度、改善できる体制を整備する。また、防げない事故はご家族にその旨を説明していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	事故が発生した場合はその日いるスタッフでまずはショートカンファレンスを開催することを徹底する。に関しては確実に成果も上げている。事故への関心、再発防止への意識付け等醸成してきている。ご家族への説明もきちんと対策を講じて説明できている。

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	5	7	1	1	14
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	4	5	3	2	14
③	地域連絡会に参加していますか	2	0	0	12	14
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	3	9	2	0	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
○事故が発生した際やヒヤリハット事項があった場合は改善策を早急にその都度対応している。 ○研修には出来るだけ参加している。 ○同じ事故が起きないように必ず内容を確認している。 ○外部・内部研修を通して、リスクマネジメントの意識が付き、事故を事前に防ぐ習慣が身についた。 ○今までは、原因がわからないまま改善策を立てていたりしていたが、原因を明らかにすることでその事故がなぜ起きたのか、隠れた要因などもカンファレンス等を通じて行えるようになった。また、事故聴取を早急に行うことで、原因を絞り込むことができたり、事故への抑止力、注意しようと他人事でなく考えるようになった。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
○事故時間の経過と共に意識が希薄してしまった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
事故が発生した場合はその日いるスタッフでまずはショートカンファレンスを開催することを徹底する。に関しては確実に成果も上げている。事故への関心、再発防止への意識付け等醸成してきている。ご家族への説明もきちんと対策を講じて説明できている。 原因も明らかになり、改善策をきちんと考え実践できるようになってきたため、次回以降は、実施されている内容をきちんと遂行出来ているか。を確認できるシステムを取り入れ、同じ事故を二度繰り返さない。防げない事故は、ご家族へ説明するというのを徹底していきたい。	

外部評価 地域かかわりシート②（結果まとめ様式）

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	8		
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の 2/3 以上の参加が望ましい	8		
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取組みが行われていましたか？	8		
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	8		

【上記4つのチェック項目に関する意見】

※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見

○2.「～したい」の実現は、職員の自己評価以上に取り組めていると思う。既にその視点を持っていること自体が素晴らしいことではないか。

○自己評価をしているが、話を聞いたり、普段のスタッフの様子から出来ているような内容が多い気がする。良くして頂いてるのに自己評価が厳しくなっているようなイメージがある。

○生活での楽しみ(レク等)工夫を行って頂いている。生きがいを感じる。

【前回の改善計画に対して意見】

※前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見

○良く取り組めているように感じる。

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

○若干、厳しめの自己評価となっている気がしているが、家族や地域(自治会)からみても良くやってくれている

【改善計画】※後日記入

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？ ○外から見る限り感染防止対策がなされている。 ○徘徊防止の対策がなされている。 ○騒音や異臭等はみられない。	8		
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	8		
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	8		
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	8		
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	8		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- 良くできている。
○施設見学をしても綺麗である。
○ブログを見てもわかりやすく施設の雰囲気がわかりやすくなっている。
○騒音や異臭等はみられない。

【前回の改善計画】

- 外から見る限り感染防止対策がなされている。
○徘徊防止の対策がなされている。
○騒音や異臭等はみられない。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

【今回の改善計画】※後日記入

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？ ○自治会の資源回収活動などに協力している。 ○地域の運動会への参加、小学校へベルマーク寄付、エコキャップを回収事業へ寄付など実施。	8		
1	職員はあいさつできていますか？	8		
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	6		2
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	5		3
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	4		4

【上記5つのチェック項目に関する意見】

【前回の改善計画】

○自治会の資源回収活動などに協力している。
○地域の運動会への参加、小学校へベルマーク寄付、エコキャップを回収事業へ寄付など実施。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

【改善計画】※後日記入

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？ ○地域の美化活動をしている。 ○写真等の掲載やブログ等で内部がわかりやすい。 ○ウィーンホールやシリウスなどで開催されているイベントへは参加して頂けた。 ○旗振りや街並み清掃は素晴らしい。	8		
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	7		1
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	8		
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	6		2
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	4	1	3

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- 地域の美化活動をしている。
- 会議などはコロナで休止中である。写真等の掲載で内部がわかりやすい。
- ウィーンホールでのイベントへは参加して頂けた。
- 旗振りや街並み清掃は素晴らしい。

【前回の改善計画】

- 地域の美化活動をしている。
- 写真等の掲載やブログ等で内部がわかりやすい。
- ウィーンホールやシリウスなどで開催されているイベントへは参加して頂けた。
- 旗振りや街並み清掃は素晴らしい。

【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

【改善計画】※後日記入

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？ ○感染症が事業所内で発生したため開催を延期などしたが、概ね2ヶ月に1回実施することができている。	8		
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	8		
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	7		1
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	8		
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	8		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

【前回の改善計画】

○感染症が事業所内で発生したため開催を延期などしたが、概ね2ヶ月に1回実施することができている。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

【改善計画】※後日記入

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？ ○現在、地域の防災訓練は中止している。 事業所では単体で防災訓練を行っていたが、自治会と協力して防災訓練を実施していきたい。 ○地震や災害を想定した BCP 訓練の実施。	8		
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	6		2
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	6		2
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	5	2	1
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	7		1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

○地震や災害を想定した BCP 訓練や研修を実施している。

【前回の改善計画】

○現在、地域の防災訓練は中止している。
事業所では単体で防災訓練を行っていたが、自治会と協力して防災訓練を実施していきたい。
○地震や災害を想定した BCP 訓練の実施。

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

【改善計画】※後日記入

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人愛成会	代表者	平本千恵子	法人・事業所の特徴	法人理念である「愛生相和」を基にお互いが助け合い、支え合い感謝の気持ちを持ってサービス提供を行うことをスタッフが共有して実践できるよう心掛けています。また、利用者の「生きる意欲や喜び」「癒し」の充足に努めると共に、地域密着型サービスを提供する事業所としてご家族、地域の方たちに愛され、信頼される施設される施設作りの為、地域の清掃活動や自治会活動への参加など様々な取り組みを行っています。
事業所名	ヴィラ愛成	管理者	岩崎 拓馬		

出席者	市町村職員 (書面) 1人	知見を有するもの 0人	地域住民・地域団体 2人	利用者 0人	利用者家族 3人	地域包括支援センター 2人	近隣事業所 0人	事業所職員 6人	その他 0人	合計 14人
-----	---------------------	----------------	-----------------	-----------	-------------	------------------	-------------	-------------	-----------	-----------

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	常勤職員メインで評価検討を行っているが、時間調整の難しいパート職員に関しては、事前に個別で時間を設け意見聴取しておく。	個別面談を一人ひとりを行うことができた。また、目標を個別に設定した。	個人目標の設定を行うことは個人のすべきことが明確になるので大変良い。	定期的な実践評価を行い、情報の収集、整理、発信する意識を高めていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	メインの玄関施錠は行わず、職員の見守りを強化して行っていく。 玄関前の花壇は利用者や地域の方が楽しめる様継続して行っていく。	感染防止の為、メイン玄関の出入りは制限せざるを負えないので、施設内側からは施錠しています。花壇等の環境整備は引き続き継続して実施していく。	・外から見る限り、感染防止策がなされている。 ・徘徊防止の措置が取られている。	・感染予防防止対策として、事業所内の設備の消毒や換気を根気よく実施していき、拡大防止対策として初動対策に力を入れ研修を実施。習慣化されるまで徹底していく。 ・外壁等の清掃にも力を入れ実施していく。
C. 事業所と地域のかかわり	日頃から関わりを持つことで、相談などがし易くなるかと思いますので、引き続き信頼関係の構築に努めたい。	あまりイベントが開催されない中で、今年もヴィラ祭りを開催することができた。また、認知症の展示会への作品参加や見学、地域の旗振り、町並み清掃、地域の運動会への参加など行えた。	・今は地域のイベントはなされていない。 ・旗振りで小学生の送り出しや、町並み清掃を毎日行っている。 ・社協、ボランティアセンター、自治会にチラシゴミ箱を寄付なさって頂き、感謝している。	地域の活動や資源回収活動などを中心に積極的に地域と関わっていきたい。

D. 地域に出向いて 本人の暮らしを支える取組み	訪問回数も増えてきている中、利用者の住んでいる地域での生活が支援できるよう、職員全体で協力して継続していくよう努力していきます。	訪問回数に大きな減少は無かったが、行動制限により地域行事やイベント自体が開催されず殆ど活動できなかった。	・今は地域イベントは休止中です。 ・地域の美化活動をしている。 ・地域包括支援センターと協力して近所の心配な方に関わっていると思う。	出来る事を探し、利用者と地域の関係性を維持できるように努める。
E. 運営推進会議を活かした取組み	GH 職員や職員が参加できるように周知・説明を行いシフト調整等も考慮して参加人数を増やしていく。	今年度から対面での運営推進会議が開催され、マネージャーのみの参加が多く、現場職員の参加がされていなかった。	特に意見無し。	開催時には、各フロアリーダーの参加も促し、事業所の取り組みや雰囲気分かる様な工夫をしていく。
F. 事業所の 防災・災害対策	疑似煙幕を利用した夜間想定訓練を行いたい。	実施するまでに至らなかった。事業所での防災訓練は年2回実施しているが、大和消防へ問い合わせをしたところ事業所単体への疑似煙幕を利用した訓練は行っていないとのこと。地域の方に知ってもらい取り組みとして自治会、包括と連携して日中を想定した防災避難訓練を3月10日に実施する予定。	自治会、包括と連携して日中を想定した防災避難訓練を3月10日に実施する予定であるため、2月26日に打合せ会議の実施をして擦り合わせを行い、連携を強化していきたい。	BCP について地震等の災害だけでなく、新型コロナウイルス感染症に関しても見直し、検討を行っていく。 地域と連携した防災避難訓練とBCP 訓練の実施の継続を行う。